第14号様式（第８条関係）

（その１）

令和　７　年分

（令和　　年　　月　　日開催分）

収支報告書

「□」内には、該当するものに「✔」を記入すること。

政治団体の区分
□ 政党
□ 政党の支部
□ 政治資金団体
□ 政治資金規正法第18条の２第１項の規定による政治団体
☑ その他の政治団体
□ その他の政治団体の支部

（ふりがな）まつおかひろたかこうえんかい

1　政治団体の名称　松岡広隆後援会

2　主たる事務所の所在地　〒530-0041 大阪府大阪市北区天神橋2丁目5番25号

3　代表者の氏名　松岡　広隆

4　会計責任者の氏名　松岡　嘉子

活動区域の区分
☑ ２以上の都道府県の区域等
□ 同一の都道府県の区域内

事務担当者の氏名

（電話）

（電話）

（電話）

受付 8.7.17 収支公開室 第　号

受付 令－8.5.29 大阪府選挙管理委員会

資金管理団体の指定の有無
☑ 有
□ 無
公職の種類（選挙区）　衆議院議員（現・候）　選挙区
資金管理団体の届出をした者の氏名　松岡　広隆

国会議員関係政治団体の区分
☑ 政治資金規正法第19条の７第１項第１号に係る国会議員関係政治団体
☑ 政治資金規正法第19条の７第１項第２号に係る国会議員関係政治団体
公職の候補者の氏名　松岡　広隆
公職の種類　衆議院議員（現・候）

資金管理団体の指定の期間
令和　年　月　日から
令和　年　月　日まで

国会議員関係政治団体に関する特例の適用期間
令和　年　月　日から
令和　年　月　日まで

団体コード	年分	届出年月日	解散年月日	告示用コード
	R	R	R	

340

105/00

収　支　の　状　況

（その２）

１　収支の総括表

	十億	百万	千	円
収入総額			526	287
（前年からの繰越額）			526	287
（本年の収入額）				0
支出総額			4	500
翌年への繰越額			521	787

２　収入項目別金額の内訳

(1)　個人の負担する党費又は会費	十億	百万	千	円
金額				
員数（党費又は会費を納入した人の数）				

(2)　寄附	金額 十億	百万	千	円	備考
ア　寄附（イを除く。）の区分					
(ア)　個人からの寄附					
（うち特定寄附）					
(イ)　法人その他の団体からの寄附					
(ウ)　政治団体からの寄附					
小計（ア）＋（イ）＋（ウ）					
（寄附のうち寄附のあっせんによるもの）					
イ　政党匿名寄附					
合計（ア＋イ）					

(その13)

3　支出項目別金額の内訳

(1)　支出の総括表

項目	金額												備考	
			十億			百万			千			円	本部又は支部に対して供与した交付金に係る支出	
1　経常経費														
(1) 人件費														
(2) 光熱水費														
(3) 備品・消耗品費														
(4) 事務所費														
小計														
2　政治活動費														
(1) 組織活動費										4	5	0	0	
(2) 選挙関係費														
(3) 機関紙誌の発行その他の事業費														
(ア機関紙誌の発行事業費)														
(イ宣伝事業費)														
(ウ政治資金パーティー開催事業費)														
(エその他の事業費)														
(4) 調査研究費														
(5) 寄附・交付金														
(6) その他の経費														
小計										4	5	0	0	
合計										4	5	0	0	

(その15)

(3) 政治活動費の内訳		項目別区分 組織活動費 ( )			
支出の目的	金額	年月日	支出を受けた者の氏名(団体にあっては、その名称)	支出を受けた者の住所(団体にあっては、主たる事務所の所在地)	備考
	十億 百万 千 円				
この頁の小計					
その他の支出	4500				
合計	4500				

（その17）

資産等の状況

1　資産等の総括表

資産等の有無			
資産等の項目別区分	有	無	備考
ア　土地	☐	☑	
イ　建物	☐	☑	
ウ　建物の所有を目的とする地上権又は土地の賃借権	☐	☑	
エ　取得の価額が100万円を超える動産	☐	☑	
オ　預金（普通預金及び当座預金を除く。）又は貯金（普通貯金を除く。）	☐	☑	
カ　金銭信託	☐	☑	
キ　有価証券	☐	☑	
ク　出資による権利	☐	☑	
ケ　貸付先ごとの残高が100万円を超える貸付金	☐	☑	
コ　支払われた金額が100万円を超える敷金	☐	☑	
サ　取得の価額が100万円を超える施設の利用に関する権利	☐	☑	
シ　借入先ごとの残高が100万円を超える借入金	☐	☑	

（その20）

宣　誓　書

添　付　書　類　　（別添のとおり）

1　領収書等の写し

2　監査意見書（政党本部及び政治資金団体に限る。）

3　政治資金監査報告書（国会議員関係政治団体に限る。）

4　確認書（国会議員関係政治団体に限る。）

この報告書は、政治資金規正法に従って作成したものであって、真実に相違ありません。

令和　8　年　5　月　29　日

政治団体の名称　松岡広隆　後援会

会計責任者の氏名　松岡嘉子

代表者の氏名
（解散の場合のみ）

1　会計責任者本人が提出する場合にあっては本人確認書類の提示又は提出を、その代理人が提出する場合にあっては当該代理人の権限を証する書面及び本人確認書類の提示又は提出を行ってください。ただし、会計責任者本人の署名その他の措置（例えば記名押印）を講ずる場合は、この限りではありません。

2　解散の場合のみ、代表者も記名押印又は署名をすること。

3　この報告書を提出する際には、政党又は政治資金団体にあっては監査意見書及び領収書等の写しを、国会議員関係政治団体（当該年中において一部の期間のみ国会議員関係政治団体に関する特例規定が適用されていたものを含む。）にあっては政治資金監査報告書、確認書及び領収書等の写しを、その他の政治団体にあっては領収書等の写しを提出すること。なお、第9条第2項第1号に掲げる場合にあっては、振込明細書の写しを当該振込み明細書に係る支出目的書と併せて提出すること。

政治資金監査報告書

令和８年５月28日

松岡広隆後援会
代表　松岡　広隆　殿

登録政治資金監査人　青木伸文
登　録　番　号　第　4241　号
研修修了年月日　平成25年1月16日

１　監査の概要

（１）私は、政治資金規正法（以下「法」という。）第１９条の１３第１項の規定に基づき、松岡広隆後援会の令和７年に係る法第１２条第１項に規定する収支報告書のすべての期間を対象として、当該収支報告書並びに当該収支報告書に係る会計帳簿、明細書、領収書等、領収書等を徴し難かった支出の明細書、振込明細書及び振込明細書に係る支出目的書（支出の目的が記載された振込明細書の写しを含む。以下同じ。）について、支出に関する政治資金監査を行った。

（２）この政治資金監査は、法第１９条の１３第２項に定めるところにより政治資金適正化委員会が定める「政治資金監査に関する具体的な指針」（以下「政治資金監査マニュアル」という。）に基づき行った。

（３）私の責任は、外部性を有する第三者として、国会議員関係政治団体の会計責任者の作成又は徴取した収支報告書並びに当該収支報告書に係る会計帳簿、明細書、領収書等、領収書等を徴し難かった支出の明細書、振込明細書及び振込明細書に係る支出目的書について、政治資金監査マニュアルに基づき政治資金監査を行った結果を報告することにある。

（４）この政治資金監査は、松岡広隆後援会（大阪市北区天神橋２丁目５番25号）の主たる事務所において行った。

２　監査の結果

私が実施した政治資金監査の結果は、以下のとおりである。

（１）法第１９条の１３第２項第１号に規定する事項について、会計帳簿、明細書、領収書等、振込明細書及び振込明細書に係る支出目的書が保存されていた。

（２）法第１９条の１３第２項第２号に規定する事項について、会計帳簿には、当該国会議員関係政治団体に係るその年における支出の状況が記載され、かつ、当該国会議員関係政治団体の会計責任者が当該会計帳簿を備えていた。

（３）法第１９条の１３第２項第３号に規定する事項について、法第１２条第１項に規定する収支報告書は、会計帳簿、明細書、領収書等、振込明細書及び振込明細書に係る支出目的書に基づいて支出の状況が表示されていた。

（４）法第１９条の１３第２項第４号に規定する事項について、振込明細書に係る支出目的書は、会計帳簿に基づいて記載されていたが、領収書等を徴し難かった支出の明細書は、存在しなかった。

３　業務制限

松岡広隆後援会と私との間には、法第１９条の１３第５項の規定に違反する事実はない。

また、松岡広隆後援会と政治資金監査の業務を補助した使用人その他の従業者との間においても、同様である。

以　上